

# 主要事業評価シート(第1次実施計画/H29・30・R1年度)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	上下水道部
	17011	水道生活基盤整備事業	課名	上水道課 上水道工務G
	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上	財務科目	11:水道公営企業会計
	基本施策	03:上下水道の充実	款	資1:資本的支出
	施策の方向	01:安全でおいしい水の安定供給	項	01:建設改良費
戦略プロジェクト	-	目	01:施設費	
事業予定期間		H 29 ~ R 2 年度	主な根拠法令要綱等	水道法

② 目的・概要	対象	川崎町、住山町地区住民
	目的	川崎町北部地区、住山町西部地区の水量・水圧低下を解消するため、加圧ポンプ施設の機能強化を図り、安定した水道水の供給を図る。
概要		加圧ポンプの容量不足が発生し、施設の老朽化が著しい川崎加圧ポンプ場及び住山加圧ポンプ場について、隣地土地を取得し、新たに施設を建設する。

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
③ 事業の計画・実績	年度計画	○川崎地区加圧ポンプ施設 ・実施設計 ・地質調査 ・用地測量 ・用地買収	○川崎地区加圧ポンプ施設 ・改良工事(土木・建築)	○川崎地区加圧ポンプ施設 ・改良工事(場内整備、機械・電気設備)  ○住山地区加圧ポンプ施設 ・実施設計 ・地質調査	
	年度実績	○川崎地区加圧ポンプ施設整備 ・詳細設計業務委託 (鋼製配水池・ポンプ場の設計) ・地質調査業務委託 (ボーリング調査 1箇所) ・用地測量業務 (面積 1,348.49m2) ・用地買収等 (面積 1,348.49m2)	○川崎地区加圧ポンプ施設 ・建設工事(その1)(土木・建築) ・建築工事監理業務委託		
事業費	計画額	事業費	42,000千円	110,000千円	125,000千円
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	予算額(※)	事業費	20,930千円	42,984千円	
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
決算額	事業費 ①	20,555千円	42,984千円		
	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
人件費	一般財源	20,930千円	42,984千円	125,000千円	
	事業費 ②	2,304千円	2,335千円		
	一般職員	2,304千円	2,335千円		
	所要人員	0.30	0.30		
	臨時職員等	0千円	0千円		
総コスト(①+②)		22,859千円	45,319千円		
受益者負担率		0.0%	0.0%		

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
①	名称	川崎地区加圧ポンプ施設改良工事整備率	計画値 15	55	100
		新たな加圧ポンプ施設を建設し水圧低下を解消する	実績値 15	30	
			単位 %	%	%
②	名称	川崎地区水圧低下ポイントの水圧	計画値		20以上
		第4水源地区配水管調査に基づく水圧低下ポイントの水圧状況(水頭値)	実績値		
			単位		m
③	名称		計画値		
			実績値		
			単位		

⑤ 事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 川崎町北部地区の水量・水圧不足解消のため、関係者と調整を図りながら、加圧ポンプ施設の土木・建築工事を行う。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 川崎地区加圧ポンプ施設の土木・建築工事を関係者と調整を図りながら、作業工程の見直しを行い施工した。

		評価	(判定)
⑥ 事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 川崎加圧ポンプ室建設工事については、農業用配水管移設工事に伴う地元水利組合との協議に時間を要し年度内完成ができなかったため、翌年度に予算を繰越したが、工事の履行状況では、84%の進捗が図れており令和元年6月に完成予定である。	B  まずまず実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 建築・土木工事は繰越となり若干の遅れは生じたものの令和元年6月に完成となることから、次年度の電気・機械設備工事への影響は少なく、令和2年度末の施設供用開始ができる見込みであることから、水圧不足の解消が図れるものとなる。	B  まずまず成果を得た

⑦ 今後の対応方針	課題	【課題は何か】 川崎町北部地区の水量・水圧不足の早期解消に向け、工事を実施する必要がある。また、住山町西部地区の水量・水圧不足の解消に向けても、実施設計等を計画どおり進める必要がある。	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 【その他の場合、その内容を記載】
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 工事を円滑に進めるため、地元と調整を図りながら設計や工事にあたる。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 水量・水圧不足を解消し住民に対し水道水の安定供給が図れる。	
対応時期		令和元年度	

【1次評価者】	上下水道部 上水道課 上水道工務グループリーダー 山内 光広
【最終評価者】	上下水道部 上水道課長 杉本 良則

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	A	B			
	成果	A	B			

※平成30年度予算額(事業費)の内訳について

予算額(事業費)		42,984 千円
内訳	平成29年度からの繰越額	- 千円
	平成30年度最終予算額	111,803 千円
	令和元年度への繰越額	△ 68,819 千円